

「第2回（令和3年度 第2回）日田市文化財保存活用地域計画協議会」の主な意見

1. 開催日時 令和4年3月24日（木） 午前10時～正午
2. 場 所 日田市役所本庁4階庁議室
3. 議 事

【報告事項】

- (1) 第1回協議会について
- (2) 文化財の総合把握調査について

【協議事項】

- (1) 日田市文化財保存活用地域計画の「章立て」の作成について
- (2) 日田市の「歴史文化の特徴」の作成について
- (3) その他

4. 議事内容に関する主な意見

【報告事項】

(2) 文化財の総合把握調査について

- ・ リストに沢山上げていただき、貴重な今後のデータベースになると思う。この後、どんな物語をつくるのかという方針、後になるかもしれないが、ある程度この一つ一つがどのカテゴリーに入るのか、カテゴリー分け、どの分類に入るのかとか、そういうことをすると何かその中から少しいろんな物語が見えてきて、また、重要文化財とか、その関係とかも少し分かりやすくなるのかなと思う。だから、どういうふうに分けるかというのはまた、日田のこの実情に応じてということになると思うが、そういう作業が必要なのかなと思う。

【協議事項】

(1) 日田市文化財保存活用地域計画の「章立て」の作成について

- ・ 日田市は近年、災害に見舞われている。県下18市町村の中でやはり特色として、防災、防犯ということを、やはり重きを置いておきたいと思う。個人的な意見としては、章立てしておいたほうがいいのではないかな。
- ・ 問題は災害史と文化財の防災・防犯の章をそれぞれ設けるかという問題となる。日田市地域防災計画以上の文化財に対する特別な計画を立てられるかという問題が一つあると思う。文化財だけ格別の措置ができると、計画を立てられるのであれば、それもかなり具体的で大規模なことができるのだったら、章立てしたほうが良いと思う。ただし、地域防災計画の中で文化財というものを位置付けていくということだったら、項立てで十分であり、章立てにするか、項立てにするかというのは非常に大きな問題で、章立てにしたら、かなり具体的に予算も必要な計画を立てないといけなくなり、その覚悟があるかどうか。

- ・ この地域計画というのは、指定されたものだけではなく、未指定のものも含めて関連したものを取り上げるのが特徴だと思うので、この関連遺産群をきちんと書き込むというのが、その意義ではないかなと思う。
- ・ やはり最初のイントロのところ、要するにここに全体の考え方とか、例えば方針を示す、文化庁の基本的考え方を踏まえて県が具体的にこういう大綱を示しているから、それに基づきながら日田市としても地域の特色に合わせながらそれをうまく組立てていくという話だと思う。

(2) 日田市の「歴史文化の特徴」の作成について

- ・ 歴史文化の特徴については、細かく分けていくと本質が見えてこない。そのため、幾つかのテーマをつくってその中にはめ込んでいくというやり方が一番いいだろうと思う。例えば、山の暮らしと文化であるとか、川の恵みと祈り、災害がありますのでそういったものとか、天領日田の歴史と文化、あるいは、古代豪族の成立と古墳というか、それとか日田の仏教文化は特色があるので、そのような幾つかのテーマを設定して、その中に文化財を当てはめながらストーリーをつくっていく、そういうやり方がいいのではないかなと思う。
- ・ 先ほど大事だと思ったのは地域の人たちが何を宝に思っているかという視点だと思う。これこそ、その未指定文化財、つまり自分たちが何を宝に思っているというのは、必ずしも指定文化財に結びついてるとは限らない。全然違うのかもしれないという、そういう視点をちゃんと忘れずに入れておくことはとても大事なことだと思うので、それはやはり地域の人たちが、先ほど言ったように守れる、あるいは自分たちの誇りに持てるという、この視点を変えていくとか今後の将来にわたっての地域の文化財を守っていくことにもつながるし、そしてそれが活かすことにもつながるということだと思う。
- ・ 文化財は一部の専門家のもものだけではなく、基本的にはこの地域に住む、過去、現在、未来の人々のものであり、この人たちが文化財を使って楽しむことが基本であるという発言も大きいかなと思う。例えば、お祭りとか祇園祭に参加している子どもたちは、その価値がどうというか、自分が大好きで楽しいからそれを熱く語って、ずっとそれに参加していきたいという気持ちがやはりある。何かそういったものを踏まえて、その文化財を楽しみながら、自分たちが活用していくんだという当事者意識を芽生えさせるようなプログラムをしっかりと盛り込んでいくっていうところは、今回の計画の中に必要かなと思った。
- ・ 活用の中で観光というのがあるわけだが、それと同様に大切なのは、社会教育や学校教育における地元の市民への周知活動となり、それをすることによって、日田ってすごく色々な歴史であり、文化があり、豊かな場所なんだという誇りを持てるようになる。

例えば、古墳時代が好きだ、あるいは考古学が好きだっていう人だったらその人のためのストーリーがある。巡り方が分かるような情報、あるいはお祭りが好きな人というんだったら、何月何日に何時からどこでこういうようなお祭りや民俗芸能がありますよというような情報、こういうような、いわゆる知識だけではなくて、それを利用して日田に来てくれる、あるいは日田の中で何かをやりに行く、そういうこともできるような情報発信をしていく必要がある。それによって、より一層活用が促されていくだろうと思うんで、情報発信、パンフレットであるとか、あるいは学校の副読本であるとか、そういったものも必要ですけども、インターネット上での情報発信というの、やはり、しっかりこれからやっていかないと、いけないんじゃないかと思う。

- ・ 単なる情報発信では人の心は動かない。実際やはりそこで、先ほど言われたようなストーリーというものだったり、何ができるのかという体験だったり。そこで何ができるのか、それに何の魅力があるのか、何が楽しいのかみたいなものをあわせて、情報発信しますみたいな、情報発信の仕方みたいなことがこの中にも盛り込めるといいと感じた。
- ・ 地域計画と実際の行動、そしてその中で出てきた問題点を、もう一回計画の方に案の中でフィードバックして行って、こういう問題点があるという形で出して行く、だからこういうふうに費やしていこうという、そういった大計に根差した計画ができるのではないかと思う。
- ・ 文化財と、そういう市民の方々をつなぐ何かたまり場みたい、市民の人が簡単に入ってきてボランティアの人とか学芸員と少しおしゃべりのできる場みたいなものが、これから必要なのかなと思う。文化財をどうやって市民の人たちと一緒に、関連遺跡群のマップとか作られると思う。それも、文化財保護課、この場だけでつくるのではなく、地域の方々の意見、一緒になってマップをつくるようなことをやられたらどうかと思う。
- ・ 実は一番考えてみると、住んでいる住民の方が知らない。誰も知らないというのが結構多い。あっちこっちに行くと、そのちょっと詳しい人がいると、ぱっと説明してくれる、そういったことを住民、住んでいる人たち全員が説明できるようになると、案内人ができるわけです。人材育成のほうも先ほどよろしくお願いをしたいと思う。
- ・ 他自治体の計画を読んでも文化財をなぜ残すのかということについて、余り触れていないところがある。もちろん文化財はなぜ残すのかというのは、歴史文化として大変重要なものであるし、地域の観光としての活用、あるいは人の教育にも役立つということもあると思うが、それ以上に日本人としてとか、アイデンティティーを育てるといふか、それと残しておかないといけないものだと私は思っている。